

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はばたき		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 1 日		～ 令和 7 年 12 月 26 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 3 日		～ 令和 8 年 2 月 21 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 24 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりが『自分で選択できる環境づくり』。活動、生活の様々な場面では自分で選ぶ機会を設ける事で、主体性を育む取り組みを行う。	朝の会、帰りの会の司会や掃除活動では役割を持ち取り組む姿が見られる。児童が司会を行い一日の振り返りを行う事で、各々が今日自分が選択して取り組んだ活動を共有する機会を設けている。	・発達段階に応じた選択の方法支援を考えていく。 ①職員が選択肢を提示する ②選択した理由を聞いてみる ③自分で選択肢を考え選択していく等
2	法人内で高齢デイサービスを運営しているため、高齢サービスとの交流機会を設け、世代間の関りを通じてコミュニケーション、社会性を育てる。	・音楽体操や季節行事を一緒に楽しむレクリエーション ・花や野菜植え	折り紙や塗り絵、季節の工作や壁面工作等、直接的や間接的に共同作業が行える活動を取り入れたい。
3	職員間一人ひとりのやりたい気持ち、新しい提案や意見を取り入れ、実施している。	職員の【やってみよう】意欲やアイデアを尊重し職員全体で取り組んでいる。	アイデアを発案した職員が主体的に取り組める環境を整え、職員全体がチームとしてサポートする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の一貫性	・児童が選択した活動を職員が効率、安全面から先に行動してしまう事がある。これにより、小さな失敗をする経験が減ってしまう。 ・専門性のばらつき。特定の職にしかできない支援。	・安全面は確保しつつ、自分でやる時間を必ず設ける。  ・どの職員でも同じ支援ができる環境設定。声掛けの言葉や手順、視覚カード提示の統一等。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はばたき
------	------

公表日 令和 8 年 4 月 1 日

利用児童数 27名

回収数 18/27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2				・子どもの心身の状況に合わせて、スペースの確保を行う。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				・動(身体を動かす、遊ぶ)静(宿題、ワーク)、で活動空間を分けている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			・専門性については、明確ではない為分からない。	・児童の発達段階や特性を職員が理解し個別支援計画の作成、実施を行い、モニタリング時に説明を行う。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	2				・職員間でアセスメントを行う、記録を取り、様々な視点から意見を引き出し、計画を作成する。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					・児童に今必要な支援を見極め、そこに必要とされるプログラムを導入、達成後は次に必要な支援プログラムへとステップアップしていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	10	3		・必要ないと考える。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					・契約時、モニタリング時に丁寧に説明を行う。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			2		・契約時、モニタリング時に丁寧に説明を行う。保護者様からの聞き取りも丁寧にを行う。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				・連絡帳、電話、メール、対面等、様々な方法で密に相談や報告を行う。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				・連絡帳、電話、メール、対面等、様々な方法で密に相談や報告を行う。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	1				・年に1度の開催になっている。2月に開催した保護者会ではきょうだいのも参加できるイベントを行った。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	7	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	4			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	4			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	4			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はばたき				公表日	令和 8 年 4 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・動(身体を動かす、遊ぶ)静(宿題、ワーク)で活動空間を分けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動内で毎日掃除を設け取り組んでいる。 ※上記とは別に職員がその日の最後に清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの心身の状況に合わせて、スペースの確保を行う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員一人ひとりに目標を設定している。	・個人だけでなく、職員全体での振り返りの時間を今以上に設ける必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・外部の法人職員(認証ケアマネ)に訪問していただき、アドバイスをいただいている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・伝達研修、職員が講師となり法人内での研修を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			・職員全体でアセスメントを行う機会を計画的に行う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日々のミーティング時に職員間で意見を出し合っている。LINEワークスを使用し職員の意見を聞き出している。	・職員全体でアセスメントを行う機会を計画的に行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々のミーティング時に職員間で意見を出し合っている。LINEワークスを使用し職員の意見を聞き出している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日々のミーティング時に職員間で意見を出し合っている。LINEワークスを使用し職員の意見を聞き出している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			・密な計画の見直しが必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日30分ミーティングを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌日の朝に30分時間を設け、振り返りや記録記入を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・翌日の朝に30分時間を設け、振り返りや記録記入を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・2～3個から、カードや写真を使用し活動選択する事で、選ぶ経験を積める機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・小学校高学年～高校生を対象にしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・見学や講師として招き研修を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のイベントには積極的に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者が参加できる、興味関心がありそうな研修、講演の情報をキャッチし、チラシ等の配布、掲示を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。			・今年度は保護者会でニュースポーツを取り入れ、きょうだいを含めて家族での参加があった。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagram等を利用し発信している。	・定期的な通信の発信はできていないので、発信機会を今以上に設ける。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・施錠管理を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所を地域のイベントに使用しようしてもらう機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・研修、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者からの聞き取り、職員間で情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・常時職員が見える場所に安全計画を貼っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・LINEワークス等での迅速な情報共有、意見交換や対策案を出している。	・ヒヤリハットとして『紙』にまとめられていない事がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部の研修に参加、伝達研修やグループワークも取り入れて意識向上に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・事前に保護者に説明を行い、個別支援計画に記載し、作成時にも説明を行っている。		